



やさしく
かしこく
たくましく

学校教育目標：心豊かで 自ら学び たくましく生きる子どもの育成

人権週間 12月4日～12月10日



若い希望の像

【人権週間とは？】

国際連合は、1948年(昭和23年)12月10日の第3回総会において、世界における自由、正義及び平和の基礎である基本的人権を確保するため、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、世界人権宣言を採択したのに続き、1950年(昭和25年)12月4日の第5回総会においては、世界人権宣言が採択された日である12月10日を「人権デー」と定めしました。我が国においては、法務省と全国人権擁護委員連合会が、同宣言が採択されたことを記念して、1949年(昭和24年)から毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から同月10日まで)を「人権週間」と定めており、その期間中、各関係機関及び団体の協力の下、世界人権宣言の趣旨及びその重要性を広く国民に訴えかけるとともに、人権尊重思想の普及高揚を図るため、全国各地においてシンポジウム、講演会、座談会、映画会等を開催するほか、テレビ・ラジオなど各種のマスメディアを利用した集中的な啓発活動を行っています。

今年度の重点目標は下記のとおりです。

みんなで築こう 人権の世紀
～考えよう 相手の気持ち
未来へつなげよう 違いを認め合う心～

※法務省よりHP抜粋

校舎中央玄関前に、本校創立110周年の際に設置された『若い希望』の像があります。未来であり、希望である子ども達の姿を示したものだと思います。そして、その像の向こう側には「やさしく」の文字が見えます。

これは本校が目指す3つの子ども像

「やさしい子」「かしこい子」「たくましい子」を示した一部の写真です。

「やさしさ」って何だろう？ きっと色々な「やさしさ」があるでしょう。その中の一つにはきっと、次のこともあるのではないのでしょうか。

差別や偏見を持たず、人との違いを認め、尊重し、「みんな違ってみんないい。」という気持ちや相手を思いやる心をもって他者へ接すること。
これは、同時に「人権を守る」ことでもあると思います。

12月4日～12月10日は「人権週間」です。「人権」については、日頃から日常的に学習しているところですが、この人権週間の機会を生かし、本校では毎年「人権集会」を開催しています。

今年度は、本校の卒業生の方が中心となって活動されている音楽バンド「BLOWS：ブローズ」さんをお招きしての人権コンサートを実施します。

「人権」とは誰もが平等に持っている楽しく幸せに暮らすことのできる権利です。「人権」は大切にされなければなりません。世の中には残念ながら、いろいろな差別や偏見があります。「友達の悪口」や「仲間はすし」、これも差別や偏見の一つです。差別や偏見の多くは、人との違いを認めることが出来ないことから始まることが多いようです。

私達は誰もが完全、完璧な人間ではありません。誰しも弱いものです。

気づかぬうちに様々な差別意識や偏見をもったり、そんな言動をしてしまうこともあると思います。だからこそ、子ども達も大人の私達も人権に関する関心と理解を深めていかなければなりません。

差別や偏見をもたず、相手を認め、尊重し、思いやりをもって生きていくことが、みんなの幸せにつながります。

そのためにも人権への関心と理解を深めながら、身近なところから行動を始めることが大切です。例えば、次のようなことから始めましょう。

「あいさつをする。(自分の心を開く)」

「名前を呼ぶ時には君やさんをつけて呼ぶ。(相手を大切にし、尊重する)」

各学級での人権学習、そして今日の「人権集会(人権コンサート)」で学んだことをもとに、自分や友達、その他の人達全てのことを考え、認め、「みんな違ってみんないい」という気持ちを持った「やさしく、かしこく、たくましい、思いやりのある子ども」に育ってほしいと思います。

